

定価 一月五拾銭 郵費五銭  
廣告料 五拾二文字 一行金五拾銭  
日曜祭日の日休刊  
發行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞社  
電話 六二〇

### 常磐炭田の開発と發見

片寄平藏

山口彌一郎

明治二十八年 川崎八右衛門、白井遠平、森岡昌純、天野仙輔等相謀り入山探炭株式會社を組織し入山川平坑、湯本入山坑、高倉坑等が開坑した同二十九年小野田湯本間二哩の炭礦専用鐵道開通三〇年常磐線の開通に及んで今迄小名濱經由海路に依つた運輸系統は改められ凡て陸路鐵道に依る搬出とかはつた。斯くして常磐炭田は統制された開發へと進んだのである。

#### 3 東漸性

常磐炭田に於ける炭層は常磐第三紀層の最下部に通常上層、本層、下層の三層がある。

常磐第三紀層は西部に阿武隈山地の非含炭層の古期岩石があり、その上部に不整合に略々南北の走向で、東方に向つて十度以下の傾斜をもつてゐる。含炭第三紀層は其後の侵蝕に依つて一〇〇米以下の段丘状の低山地となつてゐるので地層は阿武隈山麓より東部海岸地方に漸次上層の出現して

來るのを常態とするれば炭層露頭は阿武隈山麓に近く分布し東海岸に向つて漸次深所に働いて行くのである。それで炭層の發見及び最初の採掘は當然阿武隈山麓地帯に於てなされた開坑も露頭近き淺所が稼行に容易であるから阿武隈山地東

#### 文藝募集

【朝】 果物  
【晝】 煮昆布 油揚  
【晚】 海老フライ  
籠に始められる。採掘するに従つて漸次地表より深き部に進んで行く、即ち東方に推移するのである。小野田炭坑の開坑が明治十六年で長倉の開坑は明治四十一年であり、入山坑は

#### 雉子

(高月句會集)

きびす啼く熊笹の葉に風立ちて  
野火けぶりひろがる山や雉子鳴く  
峠道長くつゞきて雉子の飛ぶ  
袖取りの暮るゝ山家や雉子飛ぶ  
子病みて焼野のきびす思ひけり  
きびす啼くや朝靄晴るゝ檜山  
雉子鳴く時の茶屋の吹雪かな  
きび捕ふ人や親子のなからまし

新學期の... 裁縫用具と 通學手提カバン  
澤山人荷致しました  
平田町  
各學校 御用達 ハシモトヤ糸店  
電話一四一番

吉田眼科病院  
眼科専門  
院長 吉田 安雄  
醫學士 吉田 久雄  
平瀬屋町電話六八番

喜多流謠曲と仕舞の  
お稽古をお勧め致します  
平田町六九  
喜多流 仕舞 白土會  
電話二七番

貸切の... 御用命は!!!  
獅子吼(四四九ノ勢) イキホイ  
眞先ニ... (マツサキ) マツサキ  
三九二タクシーへ!!!

産婆 看護婦 生徒募集  
平南町 平産婆看護婦學校  
校長 清野キヨ子  
電話三〇七番

學校卒業賞品特賣  
各學年卒業修業期が近づきました。各種賞品類も全部荷揃致しました御仕入の絶好期、卸賣特に御務め勉強致します

共榮漆器店  
景品賞品類 進物贈答品 恩賜賞與品 記念表彰品 各國産漆器  
本店員募集  
本年尋卒 仕着 小使月二圓  
同高小卒 仕着 小使月三圓  
外交員十八九才より三十才迄

店員募集  
小 店 員 五 名  
A 十三才より十五才迄尋常科卒業生三名  
B 十四才より十七才迄高等科卒業生二名  
大黒屋勝次商店  
洋化粧品 問屋  
卸部 平町三丁目 (本通り)  
小賣部 三丁目角(常磐銀行前)  
電話長一六番

### 待望の鮫川江堰

# 愈よ着工

## けふ総工費を... 指名入札に附す

石城郡鮫川堰農業普通水利組合水路改修工事は昨年四月盛大なる

起工式を舉行した後

十一ヶ月を経た今日尚ほ着工をみるに至らず折角水路の改修を期待した組合員もくびれを切らしてゐる状態であつたが去る二十六日の同組合總會に於ける

協議の結果愈々着工の目鼻がつき本八日午前十一時平町團体事務所土木請負者の平町江口忠一氏(堀江工業)東京有田組(泉村出身)富山縣加藤組(合津大川請負者)の三

指名者を招致し同組合常任委員植田町長古川傳一氏、齊藤組合技師立會の下に改修總工費の入札を行つた結果二萬七千五百五十圓で加藤組に落札した着工は遅くも本月中旬頃の見込みである

協議の結果愈々着工の目鼻がつき本八日午前十一時平町團体事務所土木請負者の平町江口忠一氏(堀江工業)東京有田組(泉村出身)富山縣加藤組(合津大川請負者)の三

## 忠魂祭

### 其他附議

郡下町村長會  
石城郡下町村長支會總會は九日十時から平町役場會議室に於て開かれるが當

協議事項左の如くである  
一、昭和八年度石城支會歳入出決算の件  
二、忠魂祭典參列遺族傷兵調査の件

- 三、縣町村長會へ提出事項の件
- 四、財團法人忠靈顯彰會事業寄付金募集に關する事項
- 五、歩兵二十九聯隊凱旋記念劍術道場寄贈の件
- 六、全國町村長會要主張事項促進經過報告の件
- 七、全國町村長大會開催の件
- 八、町村吏員互助會申込に關する件
- 九、雪害更生協會設立趣意書に關する件

## 礦毒は

### 入山炭礦の責任でない

### 調査結果を發表

既報藤原川下流玉川村地内の礦毒問題に就き村當局では湯本町入山炭礦の悪水流に因するものと断定を下して居るので同礦では是が調査中であつたが被害原因が同礦の排水に依るとすれば同村の下流よりも上流並

に湯本町附近に大被害を見る管であるが上流に被害の現われぬのは同礦の排水によるものではないとの意見を本日發表した

### 第二教員出張

平第二小學校金澤、渡邊、野原草野の各訓導は来る十日水

## 平商の

### 卒業生

既報平商業學校第十九回卒業證書授與式は来る十二日午前九時より同校講堂に於て舉行されるが卒業生は平

戸常磐小學校に於て郷土教育の實際的研究發表を視察

## 郷軍幹部を

### 會長指名で決定

在郷軍人石城郡聯合分會總會に於て會長、副會長は再選重任となつたこと既報したが昨日會長指名に依り全役員を左の如く決定した

會長 山崎清三 △副會長 赤津一、藤田榮助 △理事 小泉英次、吉田憲英、榎原多博、佐藤伊太郎、松本幸平、鹿原吉五郎 △監事 羽岡平三郎、高木善枝、松田實

## 斷水區域

### 排水管布設

平町水道部では二丁目地内に於ける排水管布設工事を施行の關係で配水管の移動を生じ切替工事を爲め三月八日午後十時半より翌午前三時迄左記區域を斷水する由

田町一部 搔槌小路の大部 紺屋町の一部

國道側溝 縣土木課 竣工検査 田中技手

安島賢治 猪狩英明 植野榮 ◎小原修一 小山喜一郎 金成榮二 ◎佐藤慶三郎 酒井時寛 佐々木道典 三部幹夫 齊藤三男 △◎◎四家肇 志賀謙二 鈴木利治 鈴木満義 諏訪二郎 關場修一郎 ◎ 杣木秀雄 ◎

の爲め出張すると

## 壯丁虎眼

### 平町で検診

平町では本年度徴兵適齡者のトラホーム検診を來る十五日平第一小學校講堂に於て執行する

## 肥料講話

### 中堅農民講習

石城郡農會主催の中堅農民講習會は九、十の兩日平町團體事務所樓上に於て開かれるが縣から田中肥料獎勵官臨席と「肥料に就いて」と題する講演ある筈

## 災害個處

### 既に復舊

既朝内郷村磐城炭礦では去月廿四日同礦第二坑に大落盤あり従業員四名の犠牲者を出したが其後礦業所では極力災害個所の復舊工事に努めた結果現在では操業に

榎石勇助 田仲清 高木武志 高木吉郎 塚越説雄 ◎長瀬修造 新妻秀長 長谷川武士 木田秋 間宮喜久雄 増澤勇 馬目貞二 ◎門馬利治 吉田静磨 ◎◎山田正直 山田定 山家正 渡邊務 石憲一郎

何等の支障もなく現に採炭夫の人坑を見て居ると

作山氏の講演 平第三小學校では本日午前中福島縣教育新聞社長作山美八氏の講演あつたが第二小學校では明日午後からである

## 平町人事

平町で出生  
△古銀治町三九猪狩荒家氏 七男丈夫  
△新町二二鍋島三子さん長女ハツノ  
△北目八五田中芳氏長男芳光  
△二丁目四六當時東京市荏原區上神明町一五〇荒井吉次郎(三一)富樫サト(二七)

# 美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

## 外科 X 光線科

入院隨意

## 安齊外科醫院

電話四七五番

御融通には!

是非御利用を

萬事便利な御相談に應じます。

## 三井質店

平四・電六〇六番

# 色川火力問題に

## 調停委員乗出す

### 防火壁及び側溝建設等

#### 解決案の二條項を提示

##### ▽…重役會の結果如何

平町注視の的となつた色川製材會社の火力製材機設置の可否問題は種々の紛糾曲折を経て平町會議員の中から萩原、佐々木、井上、野崎、坂本の諸氏が調停委員となり

#### 圓滿調停を計らんと

したが先般刑事事件の惹起と共に一頓座を來した形であつた處邊色川氏も漸く刑務所を出所したので調停委員達が附近

#### 居住民の意向を徴し

禍根を將來に残さざる様圓滿なる解決の鍵を握つて反對者側の要求を綜合し

- 一、工場を東南西南の三方に高さ二間のコンクリート防火壁を建設すべき事
- 二、工場の周圍に震動を防ぐ爲め側溝を設くべきこと
- 三、汽笛を改良して設くこと

の三項目を色川氏に提示すべく調停委員等は昨日午後一時半町役場會議室に色川氏の出頭を求めたところ同氏上京不在のため同氏の令弟光以氏が代理し來つたので右解

決案を示しそれに對する色川氏側の確實なる意向をきいたが(一)及び(三)の二條は兎も角(二)は何れ勝三郎氏歸平を待ち重役會議を開き確答したいとの事であつた爲め一先づ散會したが右調停委員の幹

#### 色川氏側の確實なる意向をきいたが(一)及び(三)の二條は兎も角(二)は何れ勝三郎氏歸平を待ち重役會議を開き確答したいとの事であつた爲め一先づ散會したが右調停委員の幹

旋に依りさしもの問題も解決の曙光を見出すに至つたらしいが色川氏側の重役會議の結果如何に依つては再び紛糾の渦を卷起すのではないかとみられ成行きを注視されてゐる

## 小名濱町議

### 賭博で檢舉

#### ▽…有閑階級の

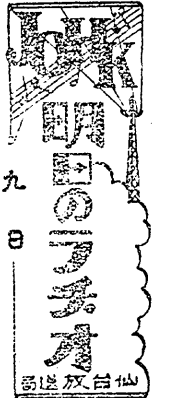
#### ▽…此種惡戯を

#### 徹底的に掃滅

小名濱町字本町二料理屋鈴木ハツ(日)方で七日午後一時頃同人始め元同町町會議員某、現町會議員某(何れも特に名を秘す)の三名が車座となり現

金賭け花札賭博に耽つてゐる最中を駐在所員に踏込まれ數珠つなぎとなつて平署に檢舉取調べを受けてゐるが同署では地方有閑階級の中にこの種賭博行為が流行してゐるものと睨み此の際に掃滅すべく

現行犯、非現行犯たるを問はず徹底的に檢舉する方針である



今晩の部  
文樂座より中繼「和田合戦女舞鶴」竹本土佐太夫  
後八、五〇 浪花節  
後九、三〇 時報 ニュー  
ス 氣象通報 番組豫告  
明日の部  
前七、〇〇 基礎英語講座

三堀検事榮轉  
大事件の檢舉を  
氣味悪からして

平検事局検事三堀博氏は今回仙臺區裁判所及び同地方裁判所検事に榮轉の發令をみた

後任検事は仙臺區裁判所豫備検事野木新一氏と決定した因みに三堀検事は年齒少壯にして而も頭腦明敏觸るもの必ず斬るの概を示し昨年

四月赴任 以來矢繼早やに大事件を檢舉し其秋霜烈日の論告は被告の心膽を寒からしめ一躍司法界に名を轟かした向同氏は語る

當區裁判所に赴任して以來自分の手を染めた事件を取纏めて「常磐地方に於ける特殊犯罪」と題して起草中であつたが今後一ヶ月間を以て脱稿する豫定の處今回の轉任の報

既報昨夜五時より平町聚樂館に於て開演された平自營會及び平區裁判所検事局警察署共同主催の司法保護宣傳人心劇は觀覽者場に溢れ脚色の仕組みの面白さと演技者の熱心さは頗る人氣を博したが今晩は警中出身で目下宮城刑務所長の法學士

（二十七）岡倉由三郎  
前九、一〇 料理献立  
毎鍋阿部やへ  
前一〇、三〇 家庭メモ  
前一一、〇〇 家庭講座  
「青少年の教育と私の體験少年保護司」福永久一郎  
後〇、〇〇 浪花節「天野屋利兵衛」壽々木女米若  
後二、〇〇 婦人講座「新聞紙上より見たる人の生命」三輪田元道  
後五、〇〇 講演「奉天戰の回顧」宮城縣町村長會長木村

戦死遺骨送迎 本日午後一時五十分平着の列車で滿洲事變戦死者の遺骨三基が平驛を通過したので平町在郷軍人分會その他各種團體が送迎した

第二校強行軍 平第二小學校では来る十日の陸軍記念日に剛健會を催し全校児童の強行軍を行ふと

湯本の賭博 八日午後一時頃湯本町吹谷七〇白土みよし方に於て十二名車座となり現金賭け花札賭博開張中を平署員に踏まれて内郷村綴賣炭業遠藤三郎(日)同町炭礦雜夫荒木余治

平町の積雪量 七寸が最高  
平町では縣からの指令により今冬期間の積雪量調査を市内三小學校の訓導に依頼してあつたが現在迄の最高積雪量は平第一上山氏が去

後五、三五 法律講座  
「親族相續法」東北帝大教授法學博士中川善之助  
後六、〇〇 子供の時間  
ラデオスケッチ「滿洲戰蹟巡り」HK小供會指揮劉田仁  
後七、三〇 講演「明治三十七八年戰役の回顧」陸軍少將 山崎定義  
後八、〇〇 舞臺劇「息子」新歌舞伎座より中繼 市川段四郎外  
後八、四〇 小唄 唄永井ひろ 三味線 鈴木つる  
後九、〇〇 ビアノ獨奏

平職界紹介所報告  
回人を求める方  
△炊事婦 二十五才迄 無學にても可 日給四十錢  
五十錢  
△鍛冶手傳 十五 六十二位 尋卒 五圓 十圓迄  
△商店雜役 十五六 二十才前後 無學にても可 月十圓位  
△配達小僧 十五六才 尋卒 仕着外三四圓  
△探炭夫 十八 四十五才 無學にても可 日給一圓五十錢  
△回職を求める方  
△小使 二十九才 高卒  
△事務員 二十一才 中卒

今晚の「人心劇」には  
警中出身 坂梨學士が講演  
坂梨森太郎氏の講演がある

湯本の賭博 八日午後一時頃湯本町吹谷七〇白土みよし方に於て十二名車座となり現金賭け花札賭博開張中を平署員に踏まれて内郷村綴賣炭業遠藤三郎(日)同町炭礦雜夫荒木余治

既報昨夜五時より平町聚樂館に於て開演された平自營會及び平區裁判所検事局警察署共同主催の司法保護宣傳人心劇は觀覽者場に溢れ脚色の仕組みの面白さと演技者の熱心さは頗る人氣を博したが今晩は警中出身で目下宮城刑務所長の法學士

# 銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 山本英春 畫

第百七十五回 徳川家に崇る村正

とう／＼ 駟り殺し

み「いつそ一思ひに殺して

……」

と泣き叫ぶおみつを無体にも荒縄で縛り上げ庭の松の木へく／＼つける、水上五太夫は大盆でガブリ／＼酒を飲みながら

五「コレやい女、死ぬ程貴様は俺を嫌ふか」

み「ハイたとひ八ッ裂きにして殺されやうとも、貴方の御言葉には従ひません」

五「能く言つた、望みに依つて此の五太夫が八裂にしてくれるぞ」

横「まあ先生お待ちなさい氣の短いことを言つてはなりません、拙者が今一應言ひ聞かして見ます……コレ／＼ 婦人お前の様にそう頑固な事を云ふものではないお前だつて商人の女房、算盤勘定は明るい筈だ、奥様御新造と立てられ榮耀榮華をするも生涯、又下駄屋の女房で一先アクソクとして暮すも一生だ、損徳は言はずと判然してゐるではないか、モウ好い加減に強情をやめて先生の御言葉に従つてはどうか」

み「イ、エ嫌です、たとひどんな贅澤をして日を送ら

ち斬つて呉れる」と例の無銘村正の一刀を引提げて躍り出たが、まだ殺す氣はない、脅し半分ギラリ引き抜いて

五「サア覺悟はよいか思ひ直すなら今の中だ、もう少しの猶豫をしてやる」



うとも、道に違つた事をしではお天道様に申譯ございませぬ、貴方様は立派なお武士様ぢやございませぬか眞正に先生のお爲めを思ひなされるならこんな間違つたことのお手傳ひをなさらないで何故ご意見をなさらない

五「イ、エ憎い奴だ」と打ち下す、右の肩先へ二三寸アツと云つて倒れた

五「イ、ヤ嫌だ、武士の一念立たざる恨み、又犬畜生と罵つた憎い女郎、思ひ知らしてくれてやる」と突くやら斬るやら駟り殺し、傍に見て居た流石の三人も顔をそ／＼けて

五「何だ念佛など唱へて意氣地のない奴だ」

五「イ、エ手前はもう結構で」

五「イヤ貴公達は木劍竹刀の試合は充分してゐるがまだ人を斬つた覺えがない筈だ、生を試さぬ内は腕は上らぬ、サア此處へ来て試しに見なさい」

五「イヤ拙者はなまより酒の方が宜しい」

五「イヤ先生、その時は又その時で覺悟もありませんがどうも此の女と云ふ奴は執念深いもので、殺すと化けて出ると言ひますからな」

五「左様な事があるものかソレ斯うするものだ」

と水上五太夫再び取り上げた村正の一刀、打ち下す

## 木村外科科專門院

平町六丁目橋際 電話三九〇

自炊入院の便あり

と水上五太夫再び取り上げた村正の一刀、打ち下す

藤沼醫院

内科 小兒科 花柳病科

入院應需

平町紺屋町 電話五〇七番

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町一六 電話一七〇番

自轉車とリヤカー

フタバ商會

元 平新川町月見橋際

大勝園

電三九六番

評判香りのよい……

電熱ほうじ茶發賣

一號 一斤六〇 四半斤一五

二號 一斤四〇 四半斤一〇

大黒はしらは家の王

お勝 手道具は世帯王

大勝園で買った茶は

茶の間の王よ客間王

父親母様おすきの茶

客のほめる茶喜ぶ茶

平三